

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第2回図書館運営協議会
開催日時	令和6年3月5日(火) 午前10時～午前11時26分
開催場所	戸田市立中央図書館2階 視聴覚室
委員長等氏名	会長 石川 敬史
出席者氏名 (委員)	会長 石川 敬史 副会長 小林 真喜子 委員 小高 剛 委員 小代 元志
欠席者氏名(委員)	委員 大久保 絹子 委員 増渕 洋一郎 委員 若林 寛子
説明のため出席した者	無
傍聴者	1名
事務局	生涯学習課 課課長 高屋 勝利 主幹 宮嶋 朗子 主事補 小林 未波 司書 宮澤 ゆかり
指定管理者	中央図書館長 後藤 有功 上戸田分館長 丸山 怜依
議 題	(1) 『40周年としょかん感謝祭』について (2) 第2次戸田市図書館ビジョン進捗状況について (3) 図書館システムの新機能について (4) 令和6年度図書館事業計画について (5) 「第4次戸田市子どもの読書活動推進計画」策定について (6) その他
会議結果	生涯学習課図書館担当・戸田市立中央図書館及び上戸田分館指定管理者から議題の内容について報告があり、報告事項に対して図書館運営協議会委員から意見を聴取した。
会議の経過	別添のとおり
会議資料	(1) 令和5年度第2回戸田市立図書館運営協議会次第

	<p>(2) 戸田市立図書館運営協議会委員名簿</p> <p>(3) 戸田市立図書館運営協議会事務局名簿・指定管理者出席者名簿</p> <p>(4) 『40周年としょかん感謝祭』について</p> <p>(5) 第2次戸田市図書館ビジョン進捗状況について</p> <p>(6) 図書館システムの新機能について</p> <p>(7) 令和6年度図書館事業計画</p> <p>(8) 「第4次戸田市子どもの読書活動推進計画」策定について</p> <p>その他</p> <p>戸田市立図書館開館40周年記念誌、おうちでかんたんスマート申請</p>
議事録確定	<p>令和6年3月8日</p> <p>会長氏名 <u>石川 敬史</u></p>

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>1 開会</p> <p>定刻となったので、令和5年度第2回図書館運営協議会を開催する。この協議会は、戸田市立図書館の円滑な運営を図るため、戸田市立図書館条例により設置するものである。</p> <p>本日の会議は、大久保委員、若林委員、増淵委員が欠席であるが、会議は成立要件となる過半数の出席を満たしている。</p>
事務局	会議資料の確認
会長	<p>次第2の議事に入る。</p> <p>議事の進行については、戸田市立図書館条例施行規則第25条第2項の規定により、会長が務めることとなっているので、石川会長にお願いする。</p>
会長	<p>それでは、これから議事に入るが、本日は傍聴人が1名いるため入場してもらおう。</p> <p>傍聴人、入場する。</p>
会長	議事(1)『40周年としょかん感謝祭』について説明をお願いする。
中央図書館長	<p>議事(1)『40周年としょかん感謝祭』については、スライドで説明していく。※内容については、資料4参照</p> <p>40周年としょかん感謝祭については、中央図書館だけでなく、生涯学習課、ボランティアの皆様と共同で作りに上げたイベントで、この館内のスペースをフルに活用して実施した大変大規模なイベントであった。</p> <p>資料4 p.3「事前準備」</p> <p>令和4年度より準備を開始し、日程や方針など概要を決めた。おはなしボランティアさんへの打診や、あんびる先生への打診はこの頃で、ロビーを使った原画展・パネル展も早い時期から実施した。</p> <p>事前準備については、生涯学習課図書館担当の皆様とミーティングを重ねながら進めた。</p> <p>生涯学習課にはイベントで配布した記念品も作ってもらい、大変</p>

<p>会長</p>	<p>好評だった。</p> <p>資料4 p.7「告知」</p> <p>告知については、紙媒体だけでなく時代にあわせてイメージ動画での告知をしてはどうかとアドバイスされ、戸田市のYouTubeを使って、7月に40周年とイベントの開催告知を行った。</p> <p>※動画視聴</p> <p>他にYouTubeで配信している『市長ニュース』でも取り上げてもらった。</p> <p>また、生涯学習課がリーダーシップをとり図書館のホームページに40周年のページを作成してくれたので、春から図書館の歴史、イベントの内容、関係者からのメッセージやインタビューなど様々なコンテンツを公開し、40周年を盛り上げることができた。</p> <p>ポスター、チラシについては、こちらも生涯学習課が用意し、関係各所に配布してくれた。</p> <p>戸田市の広報11月号では特集記事を掲載してもらった。これを見て来館したという方も多かったので、デジタル媒体の告知だけでなく従来の紙での告知も大切だと実感した。</p> <p>資料4 p.13「開催結果」</p> <p>イベントは主に中央図書館で実施したが、感謝祭の期間中は、分館、分室、配本所でもクイズイベントを実施し、戸田市立図書館全体で40周年を盛り上げた。</p> <p>当日は、広報誌を見て来館してくれた方も多かったので、事前申し込み不要の気軽に参加できる文字さがしラリーや工作、ぬりえなど大変好評だった。</p> <p>また、生涯学習課の方に1階ロビーに40周年のフォトスポットを、ぐりとぐらの工作会でも完成した帽子をかぶって撮影できるスポットを設置してもらった。大変盛り上がっていた。</p> <p>開催したイベントについては、資料にもあるとおり、すべて高い満足度であったことがわかる。</p> <p>3日間の来場者数は、総計で3,645人だった。中央図書館のイベント参加者は951人、ほかは174人と多くの方に参加してもらい、素晴らしい感謝祭になった。</p> <p>ただ今、指定管理者の説明が終わりました。</p> <p>令和4年から準備を開始し、広報も工夫をして、非常に長い時間をかけて多くのスタッフ・関係者と共に展開し、実施後の図書館利</p>
-----------	--

副会長	<p>用にもつながるイベントだったという話もありました。</p> <p>開館40周年記念誌については、前回、私の方から記録に残した方がいいのではという提案をしたが、写真を使ってわかりやすく作ってもらい、このように記録に残すことは、これからの戸田市を背負う人たちの学びにもなると考える。とてもすばらしいイベントであった。非常に高く評価できるのではないか。</p> <p>委員の皆様、この40周年記念イベントについて、意見、感想などあれば願います</p> <p>今回、私はおはなしボランティアとして人形劇や古民家おはなし会に参加した。人形劇については、私たちはプロではないので人が集まってくれるのか不安だったが、予想以上にたくさんの方が来てくれて嬉しかった。それは図書館の方たちの広報の成果なのだと感じた。</p> <p>また、イベント後のおはなし玉手箱でも、人形劇を観ましたという方が来てくれて、人形劇をやったことが、次につながってくれたことが嬉しかった。</p> <p>また、古民家のおはなし会では、話し手の募集をして、普段、中央図書館でおはなし会をしている人以外にも参加してもらうことができ、とても良かった。興味のある方に参加してもらう機会は、今後も続けて欲しい。</p>
中央図書館長	<p>今の副会長の話に補足させてもらう。</p> <p>古民家おはなし会の話し手については、今回、一般公募で上戸田分館のおはなしボランティアの方に参加してもらうことができた。この企画を中央図書館のボランティアさんに相談したとき、副会長に一般公募してはというアドバイスをもらい実現した。</p> <p>人形劇については、大変好評だったこともあり、その後に実施したクリスマスイベントでも上演してもらった。感謝祭の人形劇を見たという人もいて、感謝祭を上回る70名以上の参加者があった。感謝祭を開催したことで次につながったのだと思う。</p>
会長	<p>開催後にできた人と人とのつながりは、感謝祭の来場者3,645人という数値以上の成果があったと考えられる。子供たちや実演された方の記憶に残るイベントだったのだという印象をもった。</p>

委員	<p>私も初日に少し顔を出した。感謝祭については、そのあとの影響も大きく、やった意義があったのではないかと思う。ぜひ、今後の図書館活動にもつなげて行ってほしい。記念誌も、記事から写真から全部、自分たちで作成したのかと思うと頭が下がる。素晴らしい資料になったと思う。</p>
会長	<p>この記念誌については、近隣の図書館や県立図書館、国立国会図書館、日本図書館協会へ寄贈する予定はあるか。国立国会図書館のデータベースでヒットすれば、多くの人目に触れることになる。このような規模のイベントは、公共図書館でもあまり例がないので、ぜひとも全国レベルでの寄贈を望む。</p>
事務局	<p>検討する。</p>
委員	<p>この記念誌は、見ていると図書館の歴史を感じることができるし、図書館がいろいろな方に支えられていることもわかる。また、利用者の思い出のページに「図書館でたまたま手にとった本で人生観が変わって、それを心の支えに生きている」という話が紹介されているが、地域の人たちにとって、図書館がこのような存在であることもわかり、図書館に携わる人にとってこの投稿は非常に意味のあるもので、デジタルが普及している時代であっても、本に触れる場所としての図書館という空間は大事だなと実感した。加えて言えば、こういうところに本校の生徒が何かしらで関わっていけると良いなと感じた。</p>
中央図書館長	<p>補足として、今、ロビーでは新曽中学校生徒の作品展を実施している。これは、40周年のイベントの一つだった絵本の原画展などの流れで実施しているもので、今後も、このような形でお付き合いいただけると有難いと思っている。</p>
会長	<p>今回のイベントは、10年後の50周年につなぐことができるぐらい、記憶に残るイベントになったのかなと感じた。これらを企画、実行した関係者、図書館の皆さんやボランティア等に深くお礼申し上げます。今後の図書館活動につなげていけるよう願っている。</p> <p>他に意見、質問等がないようなので、議事(1)については、以上とする。</p>

<p>中央図書館長</p>	<p>次に、議事の（２）第２次戸田市図書館ビジョン進捗状況について説明をお願いします。</p> <p>資料５「第２次戸田市図書館ビジョン進捗状況について」に沿って報告する。</p> <p>目新しいところのみ紹介する。</p> <p>すべてのライフステージにおいて、市民の学びを支援するという点では、４０周年のイベントで新たな試みをいくつか実施した。特にバリアフリー関連のイベントは、今後につなげる第一歩になったと感じている。</p> <p>施設のバリアフリー化も随時、進めている。</p> <p>地域を知る講座としては、これも４０周年で地域資料活用講座を実施した。</p> <p>専門知識のある職員の配置については、下戸田分室、下戸田南分室に司書資格者を配置した。</p> <p>子どもの読書を推進するサービスについては、１２時台の利用が少なかったため、時間を３０分前倒しにすることで利用時間を改善した。</p> <p>また、美笹分室のある美笹公民館では、他の公民館と違い読み聞かせの行事がなかったため、ここで読み聞かせイベントを実施することにした。</p> <p>例年開催しているボランティア養成講座について、図書館のボランティアだけでなく、広く市民に公開して、市内各所で活躍する読み聞かせボランティアのスキルアップをはかった。</p> <p>図書館利用につながるイベントについては、原画展、パネル展の実施。４０周年の中でも様々なチャレンジイベントを実施した。今後も子供たちが興味を持ち、図書館に行きたいと思うようなイベントの開催を継続していく。</p> <p>学校との連携では、調べる学習コンクールを開催した。また、不登校生徒支援教室に対して出前講座を実施した。</p>
<p>上戸田分館長</p>	<p>新しく実施したことを中心に補足する。</p> <p>すべての人に学ぶ機会をとという点では、今年度、中国語の絵本を蔵書にし、現在、新着図書として提供している。</p> <p>地域の情報拠点としての図書館については、医療情報、介護ケア情報、防災情報のコーナーを設置し、展示を行った。また、郷土博</p>

<p>会長</p>	<p>物館、彩湖自然学習センター、未来屋書店北戸田店との連携で様々な展示を実施。新曽中学校の成果発表の場も提供した。</p> <p>子どもの読書を推進する図書館については、あいパルクキッズスペースでの個別のおはなし会を実施している。人気のサービスとなっている。また、グループ学習室については、中学生の職業体験事業の際に、ポップの作成等で使用してもらい、利用の促進につなげた。</p> <p>市民と共に活動する図書館については、今年度、広場で防災イベントを開催した際、防災に関する紙芝居の朗読を、市内の団体に依頼し、実施してもらった。</p> <p>第2次戸田市図書館ビジョン進捗状況について説明してもらった。</p> <p>この図書館ビジョンについては、令和4年度から令和10年度まで長期にわたって図書館活動を積み重ね、展開していく上で柱となるものだが、資料5の報告書で、主な政策には連番を振ること、さらには自己評価にはなるが、実施の評価をSABCなどで、わかりやすく評価を記入してはどうか。目に見える形で評価すれば課題を明確にすることができ、次年度の課題としてつなげていけるのではないかな。</p> <p>令和5年度が一番大きな成果は40周年のイベントであるが、学校との連携についても、館の外へ出て活動を展開できた点は大きな成果である。</p> <p>課題となっていたおはなしボランティアの担い手の養成も、市民大学講座として養成講座を開催して課題の解決につなげたことは大きな成果だと感じる。</p> <p>他に質問がなければ、議事(2)については以上とする。</p> <p>続いて議事(3)図書館システムの新機能について、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料6「図書館システムの新機能について」に沿って説明する。</p> <p>令和6年2月13日～29日全館休館し、システム更新を実施した。新たに導入した新規機能としては、資料6のとおりである。</p> <p>1 貸出券をスマホに表示できる</p> <p>貸出券を持ち歩かなくても、スマホで資料の貸出ができるようになった。</p>

2 読書の記録が残せる機能を追加

以前から多くの方から要望があった機能。タイトル等の記録が残るだけでなく感想等をメモとして残したり、読んだ冊数を統計として表示でき、読書の励みになる機能もある。これを機に利用者の読書活動の推進につながることを期待している。利用者の秘密を守るため、読書記録についてはシステム上、図書館内部からも見えないようになっている。

3 Web から本のリクエストができる。

以前から利用者アンケートでも要望の多かった機能。従来は紙のリクエストカードをカウンターに提出してもらっていたが、これをWeb 上からできるようした。

4 スマホから図書館手続きができる。

こちらは、戸田市が持っているスマート申請の機能を活用した。新規の登録や有効期限の更新手続きが図書館に来館しなくてもできるようになった。

オンラインですべてを完結させるため、発行した利用券番号とパスワードを通知し、従来のプラスチックの貸出券は発行せずに、スマホで表示させる貸出券を利用してもらう。

図書館側で申請内容の審査があるため、即時発行はできないが、スマホやパソコンから手続きができることから利便性は向上すると期待している。

5 マイナンバーカードが貸出券として使える。

マイナンバーカードがもつ電子証明書の機能を利用して図書館システムと連携し、貸出券として利用することができる機能である。

カウンターで連携の手続きができる。一度、暗証番号の入力をして連携手続きをすれば、その後は暗証番号不要で利用できる。

コンビニなどで住民票をとるときに使う利用者証明用の証明書の機能を使っているため、個人番号そのものは扱わない。

連携するメリットは、マイナンバーカード1枚、携帯するだけで、医療機関でも図書館でも利用できるという点。また、確定申告などの電子申請で使う署名用電子証明書を搭載している人については、貸出券の利用期限を自動で更新することも可能になった。この機能については、全国でもまだ導入している図書館は少ない。

戸田市の図書館では貸出券の有効期限が1年で、更新の手続きを頻繁に行う必要があるため、自動更新する機能は利用者の利便性の向上につながると思う。

	<p>今回のシステム更新は、図書館のデジタル化の推進が目標である。また、図書館へのアクセスに対して、敷居を下げることで頻繁に来館できない人にも継続して利用してもらえることを期待している。</p> <p>今後は、デジタル弱者についても、カウンターでのサポート等を行い、多くの人に利用してもらえるよう努める。</p>
会長	<p>図書館システムの新規機能について、開始から5日が経過しているが、順調に稼働しているのか。</p>
事務局	<p>導入したばかりで不慣れな部分あるが、カウンターでもオンラインでも新しい機能を利用してもらっている。</p>
中央図書館長	<p>初日だけで、40件ほどのWebリクエスト申請があった。</p>
会長	<p>その後は何件ぐらいか。</p>
中央図書館長	<p>2日目も30件ほど申請があった。その後については、まだ数字を聞いていないのでわからない。</p>
会長	<p>図書館に来館せずに、非来館で図書館という機能を活用するというのは、戸田市の人口構成を考えると、今後、大きく求められる機能なのかと考える。</p> <p>これについて、委員の皆様、意見、質問があればお願いします。</p>
委員	<p>図書館を普段使わない人たち、市民への周知は、どのように行っているのか。</p>
事務局	<p>広報戸田市での周知、図書館のホームページで説明、あとは、北戸田イオンのフードコードのデジタルサイネージでも周知を行う予定</p>
委員	<p>今年度、何件ぐらいの申込を目標としているか。</p>
事務局	<p>マイナンバーカードについては、図書館で利用する人がどれほどいるかが計れないところがあったので、当初の目標としては月5名以上、年間で60名以上を目標とした。</p>

<p>会長</p>	<p>ただ、思った以上に連携してもらっているの、出足は順調である。</p>
<p>上戸田分館</p>	<p>これは、上戸田分館でも共通で使える機能か。</p>
<p>副会長</p>	<p>はい。上戸田分館でも、あいパルで発行しているミニコミ誌で新機能について掲載し、窓口でも随時、案内している。</p>
<p>副会長</p>	<p>この会議が終わりましたら、ゆっくり登録してみたいと思う。</p>
<p>会長</p> <p>中央図書館長</p>	<p>便利な機能であるが、今後は個人情報の扱いに配慮し、流出などないよう危機管理をしっかりとしてほしい。システム事業者とも、念入りに打ち合わせをするなどお願いしたい。</p> <p>他に意見等ないので、議事(3)については以上とする。</p> <p>次に議事(4) 令和6年度図書館事業計画について説明をお願いする。</p> <p>議事(4) 令和6年度図書館事業計画について、資料(7)令和6年度図書館事業計画に沿って変更点のみ紹介していく。</p> <p>ブックスタートについては、コロナ禍で対面での説明を中止していたが、直接、絵本の読み聞かせを実施するよう計画している。</p> <p>おはなし会については、平日の参加者が少ないことから玉手箱の曜日と時間を変更し、現在、網羅できていない乳幼児の会を開催(水曜日の午前中)することとした。</p> <p>新規のイベントとしては、古い16ミリフィルムの上映会を実施する。</p> <p>YA世代に向けては、YAイベントを企画し、この世代の利用者増加を期待し企画している。</p> <p>シニア向けには、イベントが少ないことから映画会を開催する予定。</p> <p>40周年イベントで好評だったバリアフリー映画会を開催する。但し、下戸田南分室のあるセンター心身障害者福祉センターの方が、利便性が良いという声があったので、そちらで実施したい。</p> <p>また、バリアフリーサービスとしては、マルチメディアデイジーを使ったおはなし会を開催する予定。</p> <p>ロビーの活用として、軽食販売の充実、ロビーイベントの充実を考えている。</p>

上戸田分館長	<p>現在、開催している絵本の選び方講座については、参加者数が減少したため、来年度については、保護者の交流イベントとコラボして実施することにした。時間帯も午前中に変更し、多くの人に参加してもらえるように開催していく。</p> <p>大人向けには、絵本カフェを実施する予定である。利用者同士の交流ができるイベントとして、コロナ前の読書サロンを復活した形でイベントを開催していく。</p> <p>企画展示としては、引き続き、彩湖自然学習センターとの連携、郷土博物館との連携を実施していく。</p> <p>子供たちの調べ学習の支援としては、サイエンスイベントを予定している。体験を通して学ぶことの面白さに気づいてもらった上で、資料を使った調べ学習の楽しさを知ってもらいたいイベントとなっている。</p> <p>小学校との連携では、PBL 展示の協力を来年度も継続していく予定。</p>
会長	<p>令和6年度図書館事業計画について説明してもらったが、意見、質問があれば願います。</p>
副会長	<p>他市になるが、大きな施設で読み聞かせをしている方を招いて、読み聞かせのイベントを開催している例がある。戸田市ではできないのか。</p>
事務局	<p>ボランティアが話し手として開催しているイベントということか。</p>
副会長	<p>そうではなく、有名な読み聞かせをする方たちを招いて開催するイベントです。</p>
事務局	<p>そういう方たちの講演会とか実演会というようなものか。</p>
中央図書館長	<p>それは、図書館が主催しているイベントなのか。</p>
副会長	<p>市との共催で、200名くらい収容できる施設で開催している。</p>

中央図書館長	朗読会とは違うのか。
副会長	そうではなく、大きな絵本を使って、読み聞かせをしている。著名な方を招いて、読み聞かせの大きなイベントを開催したいが難しいのか。
中央図書館長	具体的なイベントの情報があれば、後ほど、事務局の方へ提供してもらいたい。
副会長	わかった。 実は、上戸田分館において、お寺で読み聞かせをしたのを知って、そういうことができないのかと思った。あのイベントは上戸田分館で企画したのか。どのように実施したのか知りたい。
上戸田分館長	あいパルでは、コロナ禍以前に、地域のお寺で子供向けに座禅体験会を実施していた。それを覚えていたスタッフが、コロナも落ち着いてきたので、ボランティアの方と共に読み聞かせに活用させて貰ったらどうかと企画した。
副会長	おはなし会も、図書館の外で行うと雰囲気が変わって楽しいかなと思った。
上戸田分館長	参加した人も「お寺で」というところに惹かれて参加を決めたという人が多かった。
委員	令和5年度の事業を見直して、次年度の事業を計画していると思うが、令和5年度で止めた事業はあるか知りたい。
中央図書館長	中央図書館では、リサイクル図書を提供するイベントは、手間がかかるので止めた。ロビーでの提供で十分機能する。
上戸田分館長	上戸田はおうちで絵本広場は単独での開催を止めた。
委員	図書館では充実した事業を展開している点は高く評価できる。ただ、以前も話したが、新規事業を増やすだけでなく、その分、廃止する事業もないと、スタッフに負担がかかってしまうことが心配で

中央図書館長	<p>ある。事業内容、そして事業を担うスタッフともに充実した事業展開を期待したい。</p> <p>配慮いただきありがとうございます。私共も、もう少し削れないか、見直しを検討する。</p>
会長	<p>限られた人員で実施するので、スタッフの皆さんに負担がないよう調整してほしい。</p> <p>私からも1つ、調べる学習コンクールについて、お願いしたいことがある。以前も伝えたが、図書館の人も応募してほしい。図書館活動、同時にスタッフの皆様の実績にもつながると考える。</p> <p>令和6年度図書館事業計画については以上とする。</p> <p>議事、(5)「第4次戸田市子どもの読書活動推進計画」策定について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>議事(5)「第4次戸田市子どもの読書活動推進計画」策定について資料(8)「第4次戸田市子どもの読書活動推進計画策定について」に沿って説明する。</p> <p>「第4次戸田市子どもの読書活動推進計画」については、令和6年度中に策定する。アンケート調査の実施後、結果を元に素案を作成し、10月予定の運営協議会で提案した後、修正し、パブリックコメントを実施、来年3月に策定に至る予定である。</p>
会長	<p>「第4次戸田市子どもの読書活動推進計画」は、図書館ビジョンと違って、市内全域での子どもの読書環境の整備を進めていくものである。10月の運営協議会で委員の皆様にご意見を伺うとあったので、その際はお願いします。</p> <p>意見等ないので、議事(4)については以上とする。</p> <p>次の議事(6)その他については、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>その他として、2点の報告がある。</p> <p>1点目は、戸田市立図書館、中央図書館及び上戸田分館の指定管理者は、令和7年3月末をもって、それぞれ指定管理期間満了を迎える。そこで、令和7年4月からの次期、指定管理者については、令和6年度中に選定を行うことを報告する。</p> <p>2点目として、本日の図書館運営協議会の結果については、今後、</p>

会長	<p>議事録を作成し委員の皆様へ送付する。またホームページでも公開を予定している。</p> <p>事務局の説明について意見や質問はあるか。 特になければ、議事(6)については以上とする。 本日の全ての議事が終了したので、進行を事務局にお返しする。</p> <p>傍聴の方には、資料の回収にご協力いただく。 以上で令和5年度第2回図書館運営協議会を閉会とする。</p> <p>議事終了 閉会 午前11時26分</p>
----	---